

● 現在の経営状況*2

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	1.9 p	7.5 p ↗
不動産流通業（住宅地）	△ 12.5 p	2.6 p ↗
ビル賃貸業	△ 18.5 p	4.6 p ↗

● 3ヶ月後経営状況見通し*3

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	5.8 p	26.2 p ↗
不動産流通業（住宅地）	△ 18.3 p	13.8 p ↗
ビル賃貸業	△ 25.9 p	△ 0.9 p ↘

住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から 7.5p 改善し 1.9p。5期ぶりのプラス水準。

不動産流通業は前回から 2.6p 改善し ▲ 12.5p。8期連続のマイナス水準。

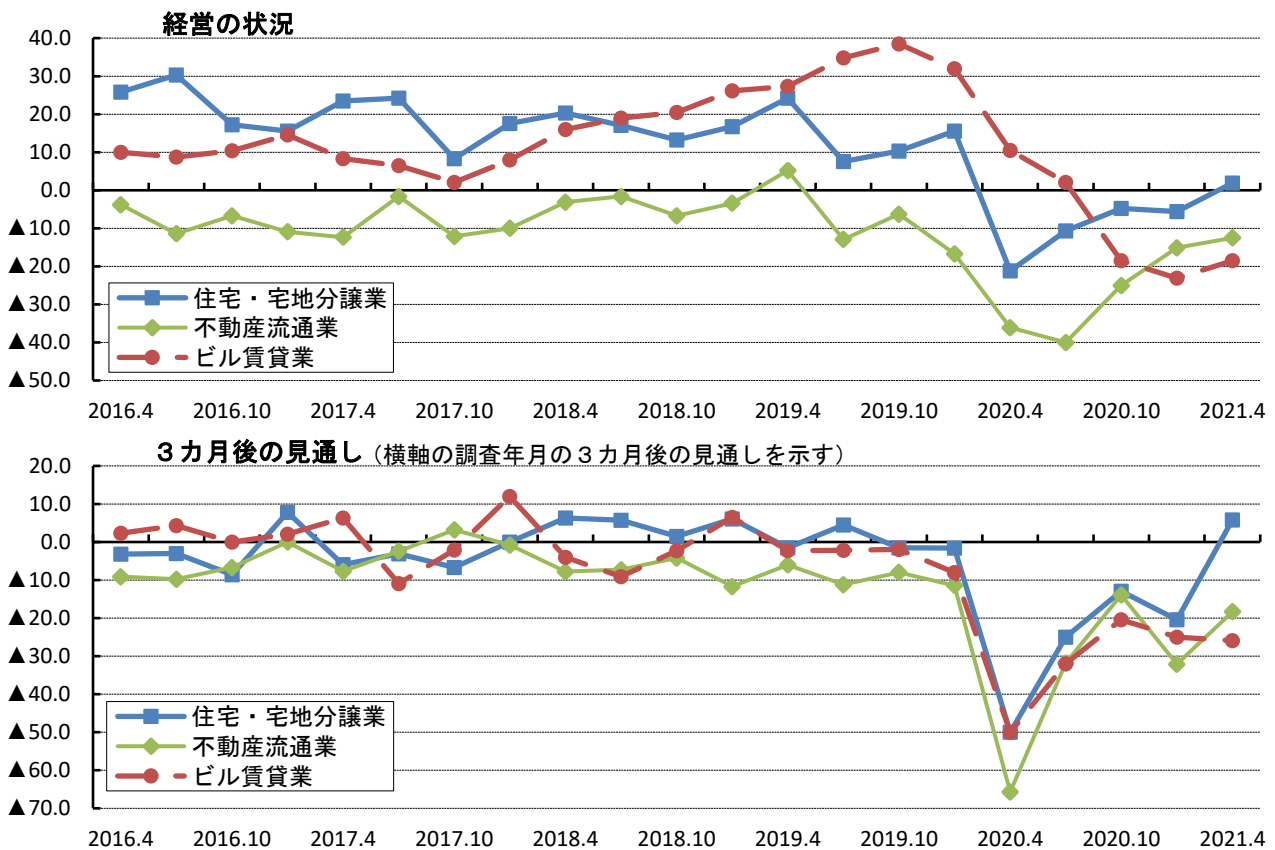
ビル賃貸業は前回から 4.6p 改善し ▲ 18.5p。3期連続のマイナス水準。

3ヶ月後の見通しは、住宅・宅地分譲業および不動産流通業で改善、ビル賃貸業で悪化。

*1 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。調査時期は毎年1、4、7、10月。

*2 経営の状況 = $\{(\text{「良い」} \times 2 + \text{「やや良い」}) - (\text{「悪い」} \times 2 + \text{「やや悪い」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$

*3 3ヶ月後の見通し = $\{(\text{「良くなる」} \times 2 + \text{「やや良くなる」}) - (\text{「悪くなる」} \times 2 + \text{「やや悪くなる」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$ （調査年月の3カ月後の見通しを示す。）



[不動産業業況等調査結果 \(pdf\) ダウンロード](#)

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」

土地総研メールマガジン 第104号「不動産業業況等調査」